

(19)日本国特許庁 (JP)

## (12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2000-16417

(P2000-16417A)

(43)公開日 平成12年1月18日 (2000.1.18)

(51)Int.Cl.<sup>7</sup>B 6 5 D 1/09  
B 6 5 H 39/16

識別記号

F I

B 6 5 D 1/00  
B 6 5 H 39/16

テーマコード(参考)

C

審査請求 有 請求項の数23 OL (全 8 頁)

(21)出願番号 特願平11-156997

(22)出願日 平成11年6月3日 (1999.6.3)

(31)優先権主張番号 198 24 797 : 4

(32)優先日 平成10年6月3日 (1998.6.3)

(33)優先権主張国 ドイツ (DE)

(71)出願人 599076778

インダグ ゲーエムベーハー ウント カンパニー ベトリーブス カーゲー  
ドイツ連邦共和国、69214 エッペルハイム/  
ハイデルベルク、ルドルフービルト  
ーシュトラーセ 4-6(72)発明者 ハンス-ペーター・ビルト  
スイス連邦共和国、6300 ツーク、キル  
ヘンシュトラーセ 4

(74)代理人 100083116

弁理士 松浦 憲三

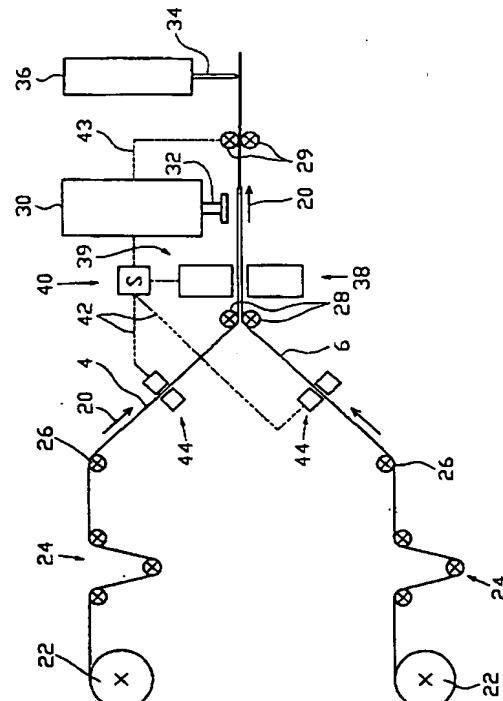
最終頁に続く

(54)【発明の名称】 バッグ製造装置及びフォイルバッグ製造方法

(57)【要約】

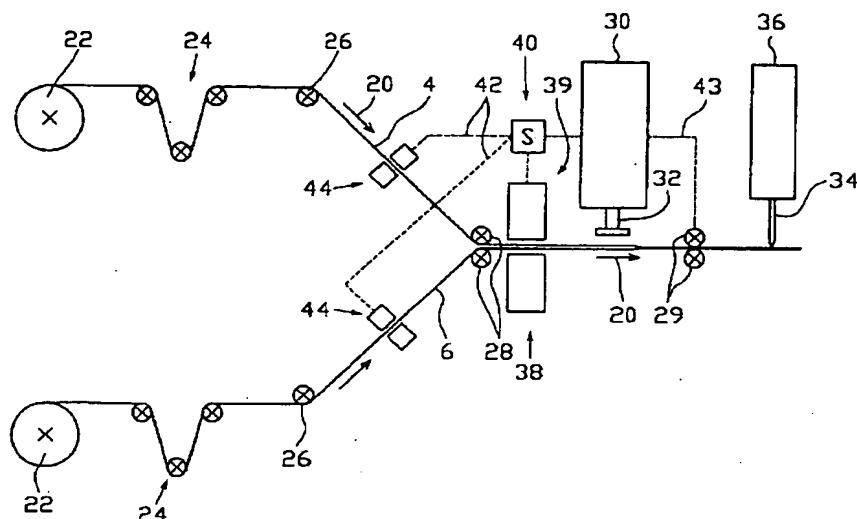
【課題】 フォイルバッグの側面部に使用されるフォイル材料の量の変動を防ぐことができる方法及び装置を提供する。

【解決手段】 本発明は、フォイルバッグの側面フォイルとなる少なくとも二つのフォイル4、6を供給し、フォイル4、6を互いに接合し、個々のフォイルバッグに切断する、フォイルバッグを製造する方法において、前記少なくとも二つのフォイル4、6によってそれぞれに供給するフォイル材料の走行方向20の個々のフォイルバッグ当たりの量に生じうる差を、フォイルバッグ当たりのフォイル材料の供給量が少ない方のフォイル4、6を伸長することにより解消することを特徴とする方法及び前記方法を行うためのバッグ製造装置に係る。

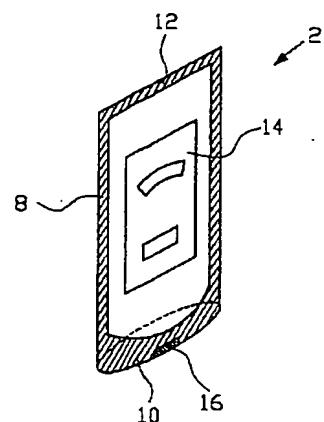


BEST AVAILABLE COPY

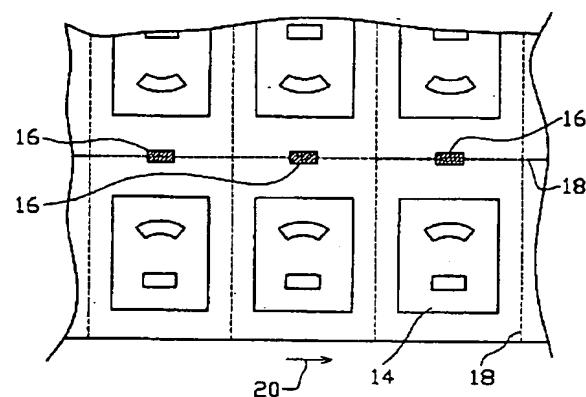
[図 1]



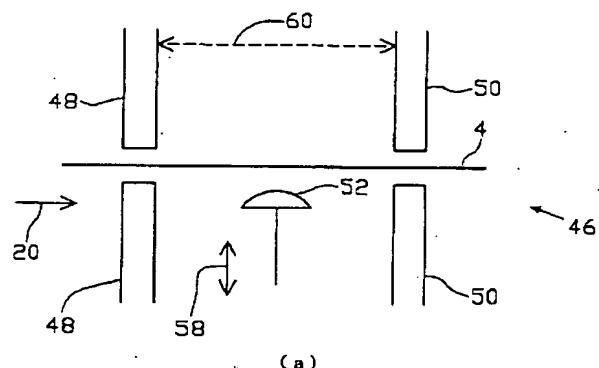
〔四三〕



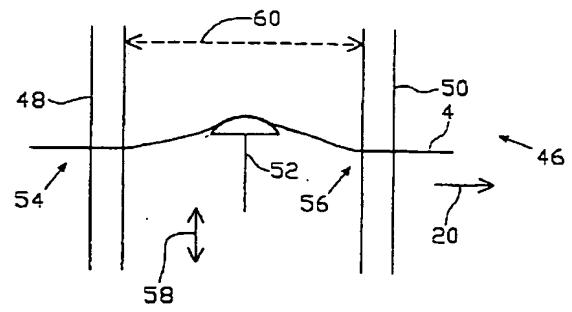
【図2】



【图4】



(a)



(b)

BEST AVAILABLE COPY